



株主通信

2010年3月期 第1四半期
業績のご報告

証券コード 6652



経済産業省から、
製品安全対策優良
企業特別賞に表彰
されました。

IDEC株式会社

和泉電気からIDEC(アイデック)へ

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

お問い合わせ先 〒530-0004
大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
0120-094-777 (通話料無料)

返 送 先 〒540-8694
大阪東支店私書箱第455号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部

〒532-8550 大阪市淀川区西宮原1丁目7番31号
電話06-6398-2500 (代表)

<http://www.idec.com/japan/>

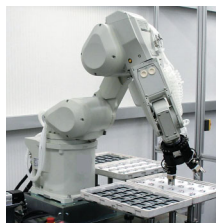
濡れている場合は乾燥させてからはがしてください

OPEN

産業現場で活躍するロボット

ロボットというと、「ASIMO」や「AIBO」のような二足歩行のロボットを想像される方が多いかもしれませんが、私たちの生活を支えているロボットは、さまざまなかたちをし、たくさんの現場で活躍しています。とりわけ、ものづくりを支える産業現場では、溶接・塗装・組立・搬送といった、主要な生産プロセスを担う産業用ロボットが数多く活躍しています。

これらの産業用ロボットは、人間の腕や手の動作機能に似た多様な動作機能を有するもので、「腕や手」をスムーズに機能させるための各種センサ、人間の筋肉にあたるアクチュエータ、そしてこれら一連の動作を制御するコントローラ（制御装置）から構成されています。



【例】
当社製造現場で活躍する組立ロボット
IDECはロボット手を自社開発しています。

機械設備における非常停止用押ボタンスイッチの役割と必要要件



【撮影協力】株式会社不二越様※1
写真右上：Presto MR20
写真左：AXコントローラ

当社HWシリーズ
非常停止用
押ボタンスイッチ

では、左の写真のような産業用ロボットのコントローラに搭載されている非常停止用押ボタンスイッチをご紹介します。

機械設備における非常停止用押ボタンスイッチとは、「発生している、または今にも発生しようとしている」緊急事態を回避するために、作業者の意志で操作するスイッチです。したがって、もしもこのスイッチが機能しなければ、すぐに事故や災害に直結する可能性が高いため、非常停止用押ボタンスイッチには国際安全規格において、数多くの必要要件が規定されています。

※1：今回撮影にご協力いただいた株式会社不二越様は、機械加工、ロボットなどのマシニング事業、ベアリング・油圧機器などの機能部品事業、材料・熱処理などのマテリアル事業で、「ものづくりの世界の発展に貢献」されています。

安全DNAによって生み出されるIDEC非常停止用押ボタンスイッチ

IDECは、創業以来一貫して安全設計思想を貫き、1965年に最初のプッシュロック形押ボタンスイッチを発売して以来、この分野での技術的ノウハウを積み重ねてきました。

当社の提供する非常停止用押ボタンスイッチは、国際規格要件に適合しており、①接点が溶着した場合でも回路を確実に遮断する「直接開路動作機能」、②予期しない突然の起動を防止するため、ロックされない限り接点が開かないセーフティロック機構、③操作時のトラブルを防ぐため、ボタンとパネルの間に

異物がはさまりにくいデザイン、といった構造や特長を有しています。

さらに2003年には、極めて安全性の高いセーフティポテンシャル構造やセーフブレイクアクション構造などのIDEC独自の技術を投入した極めて安全性の高いXシリーズを発売、これらはまさに、「安全をつくる」IDECを牽引している製品群となっています。なお、IDECはこの非常停止用押ボタンスイッチにおいて国内シェア約47%※2を誇っています。



XA・XWシリーズ 非常停止用押ボタンスイッチ



幅広いラインナップを誇る当社非常停止用押ボタンスイッチ

※2：2009年6月 自社調べ

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	期末配当金：3月31日 中間配当金：9月30日
基準日	毎年3月31日 なお臨時に必要なときはその都度公告します。
公告の方法	電子公告により行います。 http://www.idec.com/japan/lr/Koukoku/ ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。

株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっています。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

なお、特別口座に記録された株主さまに関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。



株主の皆さまへ

皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
2010年3月期 第1四半期の業績概況についてご報告申し上げます。

2010年3月期 第1四半期業績の概況

当第1四半期の売上高は、44億6千1百万円（前年同期比43.4%減）となりました。国内売上高は、LED照明関連製品が伸長したものの、主力の制御用操作スイッチや安全関連機器製品が全体的に減少し、26億7千4百万円（前年同期比46.1%減）となりました。また、海外売上高は、北米およびアジア地域でリレーや制御用操作スイッチなどの制御機器製品が減少し、17億8千7百万円（前年同期比38.9%減）となりました。

一方利益面では、減収による利益額減少の影響が大きく、営業損失4億6千9百万円となり、経常損失3億7千2百万円、四半期純損失4億5百万円となりました。

引き続き、外部環境は厳しいものと予測しており、株主の皆さまには大変ご心配をおかけしてはいますが、IDECグループ長期経営ビジョンに基づき、今年度を「IDEC変革の起点の年」と位置づけ、グループ一丸となって新たな成長の実現に向け、取り組んでいます。

株主の皆さまにおかれましては、引き続きより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

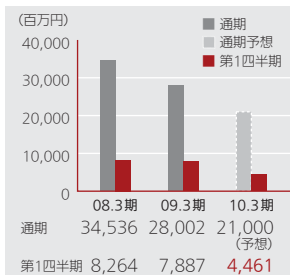
2009年8月

代表取締役会長兼社長

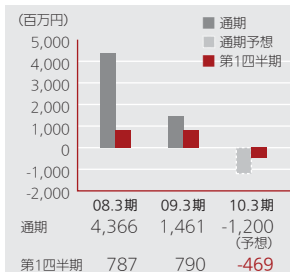
船木俊之

業績の概要（第1四半期）

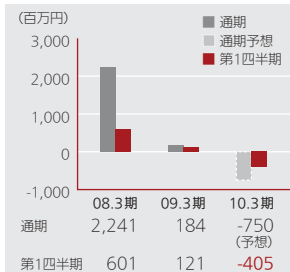
売上高



営業利益



純利益



〈売上高〉

2009年3月期 1Q比

56.6%

2009年3月期 4Q比

89.2%

郵便はがき

設備投資需要の落ち込みは依然として続いており、LED照明関連製品が伸長したものの、主力の制御用操作スイッチや安全関連機器製品が全体的に減少し、売上高は、前年同期比43.4%減となりました。

利益面では、減収による利益額減少の影響が大きく、営業損失4億6千9百万円、四半期純損失4億5百万円となりました。

しかしながら、2009年1月より実施している、取締役および執行役員報酬減額や生産量減少に伴う対応などの各種緊急対策により、前年同期比で約22%の固定費を削減しています。さらに現在、構造改革を進めており、赤字ながらも収益構造は着実に改善しています。

この収益構造の改善に伴い、当初14億円としていた通期営業損失予想は12億円に、8億5千万円としていた通期純損失予想を7億5千万円に、それぞれ修正しています。

IDECグループ長期経営ビジョンと2009年度の取り組み

昨年来の経済危機による実体経済の落ち込みおよび当社グループ業績への影響は、少なくとも今年度いっぱいには続くものと予測しています。外部環境は依然として予断を許さない状況ではありますが、①スイッチ事業、②LED照明事業、③トレーサビリティ事業を

含む新事業の3分野を長期的事業展開の軸としたIDECグループ長期経営ビジョンに基づき、2009年度においては、「IDEC変革」の起点の年と位置づけ、下記の重点施策に取り組み、急激な経営環境の変化にも柔軟に対応できる強固な経営体質の構築を推進しています。

2009年度 重点施策

スイッチを中心とした産業用制御コンポーネント事業分野の強化

LED照明事業の拡大

全体最適に基づく国内グループ会社の再編

海外事業展開・中国事業における生産販売体制の強化

CSRへの取り組みの強化

IDECグループ長期経営ビジョン(10カ年計画)

2009年度～2018年度

■2013～2018年度

スイッチ事業

グローバル市場でNO.1

LED照明事業

LED・制御融合分野でトップシェア獲得

新規事業

市場における一定ポジションの獲得

■2009年度
変革の
起点の年

■2010～2012年度

スイッチ事業

製品競争力の徹底強化と圧倒的国内シェアの確立

LED照明事業

制御における幅広い技術との融合による第2の事業の柱へ

新規事業

事業展開方針の策定

2009

2010

2013

長期ビジョンを支える経営基盤

人財の適正な活用と組織の活性化

人財の育成